

以下の記載は、表題の診療ガイドラインから漢方製剤に関する記述を抽出したものです。診療において漢方製剤を使用される場合には、必ず、ガイドライン全体をお読みになり、その位置づけを正しく理解された上で行ってください。

ガイドラインのバージョンは最新のもののみを掲載しています。改定がなされていないガイドラインは、そのまま掲載しています。このガイドラインとその中の漢方の記載を、診療の参考にすべきかどうかの判断は、使用者の責任で行ってください。

加齢男性性腺機能低下症候群 (LOH 症候群)

診療の手引き

日本泌尿器科学会/日本 Men,s Health 医学会 「LOH 症候群診療ガイドライン」検討ワーキング委員会

じほう、2007 年 1 月 31 日 発行

■1 漢方薬

疾患:

男性更年期障害

有効性に関する記載ないしその要約:

発刊によせて (社団法人日本泌尿器科学会理事長 奥山明彦) の中に、下記の記載がある。

『本邦では男性更年期障害という疾病概念が先行し、これに従って男性ホルモン補充療法、抗うつ薬、ED 治療薬、漢方薬等を用いた治療が開始されましたが、現実には男性ホルモン値など診断や治療の基準がなく、医療現場の混乱を招いてきました。』